



高校生議会を終えて ～高校生議員、町議会議員などで記念撮影



ひろお

議会だより



2016年5月1日発行

《高校生議会特集号》



「愛と平和 感謝と奉仕」
サンタランドのまち 広尾町

広尾高校の生徒代表 8 人が一般質問

救急／イベントの充実／高校存続／高齢者介護
除雪／ししゅもまつり／子育て支援／まちづくり

○発行・編集／ 広尾町議会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114



少し緊張しながらも、生徒たちは堂々と質問 ～ 村瀬町長の答弁を聞く椛木七海議員（2年）

ふるさと広尾町の課題を よく考える機会に

高校生議会を

初開催

広尾高校生代表8人が一般質問

広尾町議会初の開催となる「高校生議会」が2月3日に開かれました。広尾高校の生徒会役員8人が議員となり、一般質問を行いました。生徒たちは12月議会を傍聴したり、事前に町議会議員にアドバイスを受けるなどしっかりと準備をして臨みました。

議場では少し緊張気味でしたが、自分の考えを村瀬町長をはじめとする理事者に伝えることができました。

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることです。



高校生議会 開催にあたって

広尾町議会議長
渡 辺 富久馬

まちづくりに対する関心や理解を深めてもらうことも目的にしています。

また、公職選挙法の改正で選挙権年齢が18歳以上となったこともあり、高校生の皆さんには「議会」というものがより身近な問題になります。皆さんには12月議会の一般質問を傍聴していただき、よいまちづくりのため、町長と議員が意見をぶつけ合う場面を実際に見ていただきました。

本日は皆さんが議員となつて、この議場で町長などに意見を発表できる貴重な機会です。皆さんからの意見が、広尾町の今後のまちづくりに取り入れられるかもしれせん。議会独特の雰囲気少し緊張しているかもしれませんが、自分の意見を思いっきりぶつけて、いい議論になることを願っています。

最後に本日の開催にあたり、多大なご協力をいただきました。広尾高校の校長先生ほか関係各位に感謝を申し上げ、開催に

平成27年1月から施行している広尾町議会基本条例では、「町民の皆さんに活動が見える議会」を目指すことを大きな一つの目的としています。その取り組みの一つとして、本日、本町議会初の試みとなる「高校生議会」を広尾高校のご協力により、開催いたします。

この高校生議会は、皆さんに「議会」を知ってもらうことはもちろん、

あたつてのあいさつとします。



開催経過報告

広尾町議会副議長
堀 田 成 郎

開催にあたり、どのような模擬議会を開くことができるか検討してきましたが、最終的には高校生の皆さんに町長はじめ理事者の皆さんと対峙していただく形となりました。

模擬議会とはいえ、町長と直接真剣に話をするめつたにない機会です。一昨日（2月1日）も皆さんと私たち議員で様々な準備をしました。皆さんの真剣な思いと鋭い指摘には我々議員も舌を巻いている部分もあります。堂々と自信を持つて広尾町に対する皆さんが持っている自分の考え方、町政への疑問などを全力でぶつけてほしいと思います。我々議員も皆さんと理事者のやり取りは非常に興味深く、大いに勉強させていただきました。うと考えています。

短い時間ですが、準備してきたことを思う存分ぶつけて、充実の時間にしていただきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

平成27年1月から施行している「議会基本条例」とは、広尾町議会がいかにあるべきなのか、その議会を構成する議員はどういった資質でその議会に臨まなくてはならないのか、その根本を定めた条例です。その一環として、町民の皆さんにより開かれた議会を目指そうと高校生議会の開催を企画しました。

高校生議会 一般質問 項目一覧

議席番号	質問者	質問内容	議席番号	質問者	質問内容
1	津 端 智 聡	医療の充実について	5	椛 木 七 海	道路整備の状況について
2	相 津 天 士	十勝港まつりにおけるイベントの充実について	6	二本柳 遠 飛	観光について
3	しば 本 涼 華	高校教育について	7	増 田 隼 人	少子化・子育てについて
4	いし 橋 海 音	高齢者問題の対策について	8	みや 坂 麻衣子	まちづくりについて



次のページは「一般質問」
「救急・イベント・高校存続・介護」



津端智聡 議員

救急車の台数、増やす考えは

町長 現時点で計画はない

質問

平成26年度の
広尾消防署にお
ける救急車の出動件数は
256回と知った。広尾
町でも高齢者は増加傾向
にあり、今後救急搬送の
機会が増加することが予
想されるが、救急車の台
数を増やす考えはないか。
また、帯広市の病院等
への転送も多いと聞く。
複数の急患が同時に帯広
の病院等へ転送となった
場合は、一時的に町内に
救急車がなくなってしまう
状況になるが、この場
合の対処法は。

4月から十勝管内19市
町村の消防が1つになる
が、今と何が異なるのか。
出動態勢は帯広市で管理
されるが、対応等に遅れ
は出ないのか。

答弁 村瀬町長

広尾消防署では2台の
救急車を配備しているが、
1台は国の整備指針に基
づくもので、もう1台は
地域の実情を考えて予備
として配備している。今
後増やす計画は、現時点
ではない。

救急車が不足し
た場合は、隣の
大樹町に応援を要請
して対応している。
応援を求めた実績
については平成27
年に1回、25年、
26年の実績はない。

反対に大樹町へ
応援したのは平成
26年に1回ある。
消防が十勝で一
つになると、事故
等の現場から一番



広尾消防署では救急車を2台配備

近い消防署から出動でき
ることが利点の一つであ
る。消防・救急の対応を
十勝全体で考えることが
できるのが広域化の良い
ところだ。

十勝港まつりで参加型のイベントの充実を

町長 祭り活性化のため、検討していく

質問

十勝港ま
つりは60回
の歴史ある祭りであ
るが、この祭りを活
用し、交流人口を増
やすことは広尾町の
活性化につながる
と思う。昨年の祭り
では、一度姿を消した
磯船競漕や海上綱渡
りが復活し、大いに
盛り上がった。

参加型イベントの
充実を図り、魅力あ
る内容にすることで、
町外からのエンター
増え、祭りも盛り上
町のPRにもつながる。
また、スポーツ系の
イベントもいろいろな
競技が考えられるが
、気軽に参加でき
るものが良いと思
う。私たちのような
若い世代を含め、幅
広い世代の要望を聞
いていただければと
思うがどうか。

答弁 村瀬町長

昨年は第60回の節
目だったので、町
民有志の方が中心
となって参加型
競技の復活や帆船
日本丸

一般公開などの行事を
実施し、多くの方に
来ていただいた。今
後も盛り上がるイ
ベントを取り入れ、
祭りの活性化につ
ながるよう努力し
たい。
多くの町民がイ
ベントに参加し、
まちをつくるに
ていくという気持
ちになることも祭
りの趣旨、目的だ
と考えているので
、提案いただいた
参加型イベントに
ついてもしっかり
検討させていただ
きたい。



昨年復活した海上綱渡り



相津天士 議員



芝本涼華 議員

高校存続へ今後の取り組みは

教育長 粘り強く魅力発信を進める

質問

広尾町は
広尾高校に

対し、通学費助成や学校給食の提供、各種検定や模擬試験の補助などの支援を実施しているが、今後の形での補助を考えているか。また、各種補助にはどれくらいのお金がかかっているのか。

1月に発表された

公立高校の出願倍率で広尾高校は出願者数43人で倍率0.5倍だった。様々な取り組みを行っている中でのこの数字についてどう感じているか。また、広尾高校存続に向けて今後どのような取り組みを考えているか。

豊似中学校から広尾高校への進学者はなぜ少ないのか。今後の対策は。

答弁

笹原教育長

今後新たな模擬試験やニーズに応じた資格取得への挑戦を応援していく。またテスト等で明らかに弱った弱点教科につ



広尾高校存続は町の重要課題

いて、予備校講師による講習会の開催も検討している。部活動については、資金面でも応援していきたい。生徒の皆さんも後輩に広尾高校の魅力発信してほしい。

各種補助に786万8千円を平成27年度の当初予算に計上している。

昨年同様の出願倍率にはなったが、これからも粘り強く高校の魅力発信を進めていく。

豊似地区は過去の例からも大樹高校への進学が増えている。普段から交流の場を広げていくことが大事と考えている。

質問

私の祖母が特
別養護老人ホー
ム（以下「特養」）への



石橋海音 議員

入所を待っているが、入所待機者が多くなかなか入れない状況にある。特養での介護を希望しても施設に入れない人がたくさんいるということが一番の問題だと思う。特養を新たに建設することで問題が解決すると思うが、町長はどう考えるか。

また、施設を新たに建設したり、入所者定員を増やすと介護保険費用が増加するというが、費用は今よりどれくらい増えるのか。家で介護をしている人もたくさんいる。保険料が少し高くなっても施設を作ったり、定員を増やすことを今後考えていくべきではないか。

施設建設で

介護問題の解決を

町長 住民の意見を聞き、取り組み

答弁 村瀬町長

特養の定員は50人であり、待機者も50人いる。高齢化により、今後も入所待機者の増加が予測される。しかし、施設を新たに建設したり、定員を増やすと介護保険料が増加する仕組みになっているため、簡単に施設を増やすことはできない。将来介護を受けることにならないよう介護予防にしっかりと取り組むことや、訪問介護など在宅での生活を支援するサービス提供に努めている。



施設を建設すると介護保険料が大幅増に

次のページも「一般質問」
「除雪・ししゃもまつり・子育て・まちづくり」



ななみ 議員
椋木七海

除雪体制、

もつと充実を

町長 既存の体制で総力を挙げる

質問 交通弱者の交
通安全を守るた
めに広尾警察署のすぐ横
の地点に信号を設置する
ことはできないか。

想定外の大雪が降った
際に町内で除雪が行き届
いていない箇所が相当あ
り、生活に支障をきたす
場面が多く見られたが、
除雪車の台数を増やすこ
とはできないか。また、
現在の除雪体制は人員面
など充足しているか。

除雪の際、道路脇に高
い山ができ、歩行者が道
路を横断する時に非常に
危険な状態となる。雪山
を低く積むことを検討で
きないか。また、国道の
排雪をもつと少し早くし
てもらえるよう開発局にお
願いできないか。

答弁 村瀬町長

信号機を設置する権限
は広尾町にはないので、
地域・学校などが要望書
を作成して警察署に提出
する。警察署は調査等
を行い、公安委員会に申請
して設置するかどうか判
断されることになる。

大雪のためだけに除雪
車両を配備する
ことは、効率的
な運用を考える
と難しい。大雪
の際は総力を挙
げて除雪の体制
をとっている。
職員体制は6名、
除雪車両は8台。
現在のところは
この体制で行っ
ていく。
除雪の際はま



高い雪山で見通しは悪く、事故の危険性が

「ししゃもまつり」開催してはどうか

町長 まずは既存のまつりでPRを

質問 広尾町は
ししゃもの

水揚げが北海道一と
言われているが、消
費地ではししゃもは
「おかわ」というイ
メージが強く、生産
地である広尾の名前
は出てこない。そこ
で広尾町の観光イベ
ントとして「ししゃ
もまつり」を開催し
てはどうかと思うが、
町長の考えは。

また、町で開催し
ているイベントの企画や
準備、実施の主体を役場
が担っているのに問題は
ないか。町がやるべきこ
とは関係団体などに観光
イベントの主導を促すこ
とだと思つが。

答弁 村瀬町長

「ししゃもまつりを実
施してはどうか」という
町民の意見もあるが、町
では大きな祭りを年3回
実施しており、まずはこ
れらの祭りでししゃもな
ど広尾の海産物をPRし
ていきたい。例として漁



特産のししゃも、もつとPRを

組が毎月行っている「魚
の日」に冠を付けるなど
できることからスタート
するのも一つと考えてい
る。

6月のつつじまつりは
商工会青年部が主体となつ
て実施している。役場が
下支えをしているのは事
実だが、役場に頼るので
はなく、自分たちで町を
良くするという気概を持っ
て取り組むことが第一と
思っている。役場、関係
団体それぞれが役割をしつ
かり果たして祭りを実施
していきたい。



はると
二本柳遼飛 議員



増田 隼人 議員

出生率上げるための施策は

町長 町全体で子育てを支援

質問

私には小
学生の弟が
いるが、弟の学年は
人数がとも少ない。
また今の出生率は、
私たちの時に比べて
半分近くに減少して
いることがわかった。
出生率がここまで
減った具体的な理由
は何か。少しでも出
生率を上げるために
町として何か施策は
あるのか。1つの例
として、保育料を引き下
げてはどうか。



子育て世代にやさしいまちづくり

答弁 村瀬町長

昨年12月の人口は7306人とピーク時の52%までに減少した。生まれ
てくる子どもも2014
年には46人まで減ってい
る。人口減少の要因は経
済状況や働く場所の確保
官公庁の合理化などが考
えられる。
子育て施策については、

また、町内で子どもを
産み育てやすい環境をつ
くるため、町立病院に産
婦人科を設けてはどうか。
また、現在保育所に通っ
ている2人目の子ども
の保育料を半額、1人目
の子どもが小学生までの家
庭の3人目からを無料と
しているが、国の緩和の
動きがあり、町としても
保育料軽減を検討する。
町立病院に産婦人科を
設けることは採算面など
から考えても大変難しい。

また、現在保育所に通っ
ている2人目の子ども
の保育料を半額、1人目
の子どもが小学生までの家
庭の3人目からを無料と
しているが、国の緩和の
動きがあり、町としても
保育料軽減を検討する。
町立病院に産婦人科を
設けることは採算面など
から考えても大変難しい。

また、現在保育所に通っ
ている2人目の子ども
の保育料を半額、1人目
の子どもが小学生までの家
庭の3人目からを無料と
しているが、国の緩和の
動きがあり、町としても
保育料軽減を検討する。
町立病院に産婦人科を
設けることは採算面など
から考えても大変難しい。

質問

千葉県で生ま
れ育ち、7歳か
らサーフィンに打ち込ん
できた私にとって、親元
を離れ、広尾高校に進学
を決めるほど広尾町の海
はとても魅力的だった。
そんな私にとって、昨年、
企画実施された昆布漁と
サーフィンのタイアップ
事業はとても興味深く注
目しており、この先も推
進してほしい。



宮坂 麻衣子 議員

また、観光などで広尾
町を訪れようとする人を
増加させる取り組みを高
校生をはじめとする若者
が推進していくこととす
る場合、金銭的、人的支援
を受けることができるか。

答弁 村瀬町長

昆布漁とサーフィンを

高校生のまちづくり 活動に支援を

町長 交付金制度など活用してほしい

うまくマッチングできな
いかという思いでこの事
業をスタートした。昨年
は3人に来ていただいた
が、天候の関係で一度も
昆布漁の手伝いができな
く、漁ができない時にど
うするかという課題も出
てきた。サーフィンと産
業振興が結びついて、将
来は広尾に来ていただく
ような活動に結びつけて

いきたい。

本町は町民と行政の協
働のまちづくりを推進し
ており、高校生の参加は
歓迎したい。「まちづく
り活動支援事業交付金」
という制度でまちづくり
活動を行う団体、グルー
プに最大25万円の支援を
行っている。担当の企画
課を挙げて皆さんの期待
に応えていきたい。



次のページは「あいさつ・議員
との交流・当日の様子」

高校生議会議を 終えて

北海道広尾高等学校長

牧野 敏



この度は高校生議会議という、生徒にとってかけがえない貴重な体験学習の機会を与えていただき、たいへん感謝しております。

高校生議会議は、議場というフォーマルな場で自分の意見を述べるといふ、なかなか体験し得ない機会であると同時に、行政全般について関心を持ち、様々な問題について自分の意見を表明するという町民としての意識を

高める機会でもあります。このような機会を与えていただいた広尾町議会議、町部局の皆様方に心から感謝申し上げるとともに、将来の広尾町を支える人材育成にあらためて心血を注いでまいりますので、今後ともどうかよろしくお願いたします。

まちづくりに もっと関心を

広尾町長

村瀬 優



今日は高校生議会議という事で、普段の議員さんとのやりとりとはまた違った緊張感がありました。緊張したとは思いますが、いろいろ調べたことを堂々と自分の意見として発表したことは素晴らしいと思えました。皆さんからの素晴らしい提案を受けて、しっかりと高校生の意見を反映できるようにまちづくりをしたいと考えています。

そして何より大切なのは自分のふるさとをしっかりと勉強するとい

う気持ちだと思えます。今まちを活性化させて元気にしようとして一生懸命取り組んでいます。大事なことは住んでいる人たちが無関心にならないこと、関心を持つことだと思います。

皆さんはこれからの高校生活、そして将来の進路もあるわけですから、何事にもしっかりと関心を持って、大きく羽ばたいてほしいと思います。今日はありがとうございました。



議員さんに
アドバイスを
もらいました

高校生と議会議員の交流事業として、議員から生徒へ質問内容へのアドバイスをを行いました。





開会前はまだ緊張の様子



村瀬町長の答弁を聞いて再質問に備えます



答弁を聞いて熱心にメモを取る芝本議員



村瀬
町長

VS

石橋
議員



質問席

特養待機者対策で議論を交わしました



町長、まだ聞きたいことがあります！



真剣な眼差しで答弁を聞く増田議員



町議会議員も議論の内容に注目



将来の議長候補？



町長のイスに座って記念写真



次のページは「生徒の感想」



生徒会会長

宮坂麻衣子さん(2年)

実際の議会傍聴や、綿密な事前打ち合わせを経て実施された高校生議会は、白熱した論戦も交わされた中で、無事に終了しました。活気あふれるまちづくりのためには、若者の意見も取り入れてもらうことが大切であると感じました。今、一人一人がしなければいけないことをしっかりと確認しながら、広尾町の活性化を目指そうと思います。



生徒会副会長

津端 智聡さん(2年)

高校生議会に参加したことによって、私が知らなかった広尾町のことを知ることができて、とても勉強になりました。そして、議員の皆様がこの町をより素晴らしくしようと奮闘されていることに感動しました。これからは、今回の経験で感じ取った独特な緊張感などを、今後の様々な活動に前向きに活かしていきたいと思っています。



生徒会副会長

相津 天士さん(1年)

今回、初めて高校生議会に参加して、私は多くのことを学ぶことができました。その中でも特に、「十勝港まつり」の変革について町長に質問させていただいたことが強く印象に残っています。私たちが実際に提案したことがこれからの広尾町発展につながってくれるとうれしいです。この度は本当にありがとうございました。



生徒会書記長

芝本 涼華さん(1年)

高校生議会を通して、微力ながらもまちづくりに携わることができて、とてもうれしく思いました。特に、町長や教育長に私の意見を述べさせていただいたことは、一生忘れられない貴重な経験となりました。この町をより良くしていくために何ができるのかをよく考え、具体的に行動を起こすことができれば良いなと思います。



生徒会会計長

二本柳遼飛さん(1年)

私は高校生議会の当日まで、無事に役目を果たせるのかという不安で一杯でした。ですが、当日は緊張せずに自分の意見を述べることができましたし、議員の皆様と交流を図ることもできました。最も苦労した点は大きな声ではっきりと発言しなければいけないことでした。来年度も機会があれば、是非とも参加したいと思いました。



生徒会文化常任委員長

桜木 七海さん(2年)

人生で初めての町議会に参加できたことは、私にとっては非常に大切な経験となりました。この議会に参加できたことで、広尾町が抱えている様々な問題点を把握することができ、それらを解決していくための具体的な行動の必要性を感じ取ることもできました。広尾町関係者の皆様、本当にどうもありがとうございました。



生徒会体育常任委員長

増田 隼人さん(1年)

高校生議会が無事に終了して、私は安心しました。質問原稿の執筆の方法やプレゼンの仕方を懇切丁寧に教えてくださった町議会議員の皆様をはじめ、広尾町関係者の方々に感謝の言葉を申し上げます。本当にどうもありがとうございました。この貴重な経験を、これからの学校生活に活かしていきたいと思っています。



生徒会厚生常任委員長

石橋 海音さん(1年)

高校生議会に参加した経験は、私にとって非常に有意義なものとなりました。私が生まれた時から住んでいる広尾町について、改めて考えてみる良い機会となりました。事前打ち合わせの際にお世話になった町議会議員の皆様をはじめ、広尾町の全ての関係者に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

※学年は高校生議会開催当時のものです。